

基本方針

総合的に地球温暖化対策に取り組みます

基本目標1

省エネルギーの推進

基本目標2

地域の特色を活かした  
再生可能エネルギーの普及促進

基本目標3

災害に強く環境にやさしい  
エネルギーの分散化

基本目標4

気候変動に適応した  
対策の推進

令和2年度 指標の進捗状況

◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み  
△…要調整 ×…達成困難 —…中止

目標	No.	指標	基準値 (H26)	最終目標 (R4)	令和2年度		備考 (増減要因、今後の方向性など)
					現状値	達成 状況	
省基本エネルギー目標①の推進	1	省エネルギーに取り組む市民の割合 【向上】	57.8% (H30)	62.4%	47.2% (参考値)	△	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和2年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。
	2	自転車走行空間整備延長 (建設局 道路部 道路保全課) 【向上】	115.5km	259.7km	221.2km	○	【評価理由】 自転車走行空間ネットワーク整備計画に基づき整備が順調に進んでいるとともに、約39kmの整備が残り2年間で計画されているため、目標達成見込みとしている。
	3	一人1日当たりのごみ総排出量 (環境局 ごみ減量推進課) 【削減】	928g/人日	856g/人日	900g/人日	△	【今後の方向性】 昨年度実績から減少がみられるが、経年目標には到達していないため、さらなるごみの減量化を推進していく。
普再地基本 及生域本 促進可の目 進能特標 エネを活 かした のた	4	再生可能エネルギーの導入割合 (H25年度電気使用量比) 【向上】	21.5%	24.4%	24.0%	○	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和元年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。
	5	地域おこしを軸とした導入の推進 【向上】	—	3箇所以上	3箇所	◎	【評価理由】 既にR4年度目標を達成しているため。
工災基本 エネルギー 目標③ の環 境に やさ しい	6	分散型エネルギーを確保した住宅の割合 【向上】	18.3% (H30)	20.0%	50.8% (参考値)	○	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和元年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。
	7	水素ステーションの建設 【向上】	0箇所	1箇所	1箇所	◎	【評価理由】 既にR4年度目標を達成しているため。
	8	次世代自動車(EV、PHV、FCV)普及台数 【向上】	805台	2,130台	1,848台	○	【評価理由】 現在、年間200台程度増加していることから、残り2年で約600台の増加を予想し、目標達成見込みとしている。
対気基本 候本 の変 動目 標 進 に 4 適 応 し た	9	気候変動に対応するための体制整備 【確保】	—	整備	適応策啓発ハ ンドブックの作 成・配布	○	【評価理由】 概ね計画通り進んでおり、目標達成見込みとしている。なお、令和3年度は熱中症警戒アラートの庁内及び市民への広報体制の整備を行う予定。
	10	森林整備面積 (経済局 農林水産部 中山間地振興課) 【向上】	26,430ha	31,593ha	30,234ha	○	【評価理由】 静岡市森林計画に基づき順調に整備が進んでおり、令和4年に向け残り2年で完遂できるため、達成見込みとした
	11	市民一人当たりの都市公園面積 (都市局 都市計画部 緑地政策課) 【向上】	6.09㎡/人	8.0㎡/人	6.64㎡/人	×	【今後の方向性】 予算確保及び公園用地の確保が困難な状況が続いており、令和4年度末までの目標達成に向け、更なる事業推進が必要。